

市町村名	伊平屋村							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	観光振興基本計画策定事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－3－(2)－ウ 多彩かつ質の高い観光の推進		
担当部課名		観光交通課	事業実施 年度	令和 4	～令和 4	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－(1)	
事業内容	本村の総合的な観光振興を中長期的に推進していくため、「第4次伊平屋村観光振興計画」を策定する。							
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他()							
事業期間中 の予算額 ・執行額 【単位:千円】		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計		
	A. 予算現額	8,078				8,078		
	B. 執行済額	6,672				6,672		
	うち 交付金充当額	5,337				5,337		
	執行率(％)(B/A)	82.6%				82.6%		
	執行状況の説明	新型コロナウイルス感染症対策やフェリーの欠航により、予定していた委員会等をオンライン開催や書面決議に変更したため、報酬や旅費の不用額が発生した。その他は概ね計画通りに執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	観光振興基本計画の策定		目 標	計画の策定				
			実 績	策定完了				
			目 標					
			実 績					
			目 標					
			実 績					
	事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
					R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
観光振興基本計画の策定完了		目 標	計画の策定					
		実 績	策定完了					
【参考指標】 ・入域観光客数 17,700名以上		目 標		17,700名 以上				
		実 績		22,360名				
		目 標						
		実 績						

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果		達成／進捗状況				
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R 年度 目標/発現年度
	・入域観光客数 17,700名以上	目 標	17,700名以上				
		実 績	22,360名				
		目 標					
		実 績					
	状況説明	【R5年度】 ・入域観光客数はムーンライトマラソンが4年ぶりに開催されたこと等により、22,360名となり、目標値及び前年度実績を上回っている。					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R5年度】 ・予定していたイベント等の通常開催が可能となり、入域観光客数はコロナ前と同水準までに回復してきているが、伊平屋村への移動手段がフェリーによる海上交通のみとなっており、荒天時の欠航によるイベントの中止や来島機会の損失が課題である。			【R5年度】 ・来島する観光客の食事難民が発生しているため、村内飲食店などの開店状況やアクセス方法を対外的に周知する必要がある。				
【 年度】 ・			【 年度】 ・				
【 年度】 ・			【 年度】 ・				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R6年度】 ・食事難民を防ぐため、村内飲食店が連携し開店状況等を周知するシステムの構築を推進していく。							
【 年度】 ・							
【 年度】 ・							

市町村名	伊平屋村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	伊平屋村電子黒板ICT整備事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－5－(3)－イ ICT教育の充実	
担当部課名	教育委員会		事業実施 年度	令和 4	～令和 4	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)
事業内容	村内小中学校にICT機器を整備する。GIGAスクール構想の実現に向けて、校内ネットワークへの接続や学習用端末と連携が可能な電子黒板を導入し、主体的な学びの深化を図る。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計	
	A. 予算現額	18,335				18,335	
	B. 執行済額	18,334				18,334	
	うち 交付金充当額	14,667				14,667	
	執行率(％)(B/A)	100.0%				100.0%	
	執行状況の説明	当初予定した予算内での執行となった。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標	13台				
	電子黒板・パソコン配置:13台	実績	13台				
			目標				
	実績						
	事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標			導入完了				
機器の導入完了		実績	完了				
		児童生徒のICT機器を活用し主体的な学習意欲の向上が図られた値としてアンケート調査(80%以上)	目標		80%		
実績				90%			
事業完了後の取り組み							
	成果目標(指標) ☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和5年度 目標/発現年度
		目標	-	80%			
	児童生徒のICT機器を活用し主体的な学習意欲の向上が図られた値としてアンケート調査(80%以上)	実績	-	90%			

事業完了後の成果目標			目 標					
			実 績					
	状況説明	【令和5年度】 ・業務の効率化や児童生徒へのICT導入による授業を積極的に活用しており、読み書きやノートに写すなどの時間の縮小を図るなど、児童生徒だけでなく、教職員の残業の縮小によりゆとりある時間の確保に繋がったためアンケート調査による満足度が目標値より上回っている。						
【 年度】 ・								
		【 年度】 ・						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【令和5年度】 ・ゆとりある授業の確保により児童生徒一人一人へ丁寧な指導ができている一方、パソコンやタブレットに不慣れな児童生徒もいるため、使い方や指導に時間を要すなど新たな課題もある。				【令和5年度】 ・新一年生や三年生までパソコンやタブレットを使用した授業では使用上の使い方やルールの指導が必要であり、特に乱暴な取り扱いには故障の原因にも繋がることから、教職員や教育委員会等を通じて保護者にも共有を図る必要がある。				
【 年度】 ・				【 年度】 ・				
【 年度】 ・				【 年度】 ・				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【令和5年度】 ・ICT導入により、これまで黒板等に教職員が記載した内容を児童生徒がノートやプリント等に写すなど授業スタイルから、パソコンやタブレットを活用した電子黒板との共有により授業の効率化が格段に図られ英会話の推進や復習などゆとりある授業時間の確保に繋がっている。また、使用上の使い方やルールを徹底化していき。								
【 年度】 ・								
【 年度】 ・								